

ネットワークとセキュリティ機能を統合した
クラウドサービス (SASE※)

Cato クラウド

SASE

SASE
の背景

クラウドの台頭や働き方の変化と共に、人やシステムのロケーションも大きく変化

ロケーション	2000年代 (オンプレミス中心)	2010年代 (クラウドの台頭)	2020年代 (新型コロナが発生)	2021年代
システム	社内	社内/社外	社内<社外	新たな ネットワークセキュリティ フレームワーク Cato クラウド
NW・セキュリティ	社内	社内/社外	社内<社外	
利用者	社内>社外	社内/社外	社内<社外	
	システムへのアクセスは 社内からが中心	多くのシステムがクラウドへ移動、 働き方改革により、 リモートアクセスの需要が増加	多くの利用者が在宅勤務となり、 リモートアクセスが急増、 境界型防御の限界へ	

ネットワークとセキュリティの問題を一挙に解決します！

よくある課題・要望



海外拠点との
WAN (専用線) が
高価かつ低速。
回線品質も良くない！



世界中に張り巡らされた
Cato クラウドのバックボーンを
利用することで、安価で高速・
高品質なネットワークを構築。



情報システム部門として、
社員のリモートワーク要望に
スピーディーに
対応したい…



ネットワークとセキュリティを
含めたリモート接続環境を
クラウドで提供しているため、
スモールスタートと
迅速な拡張が可能。



各拠点からインターネット通信が
本社・データセンターに集中、
機器や回線が逼迫し、
レスポンスが悪化している！



各拠点から Cato クラウド経由で、
直接インターネットへ
アクセスすることで
ボトルネックを解消。
柔軟なインターネット接続が可能。



本社・データセンターをはじめ
各拠点ごとに様々なネットワーク・
セキュリティ機器があり、
情報システム部門での
管理が困難になっている！

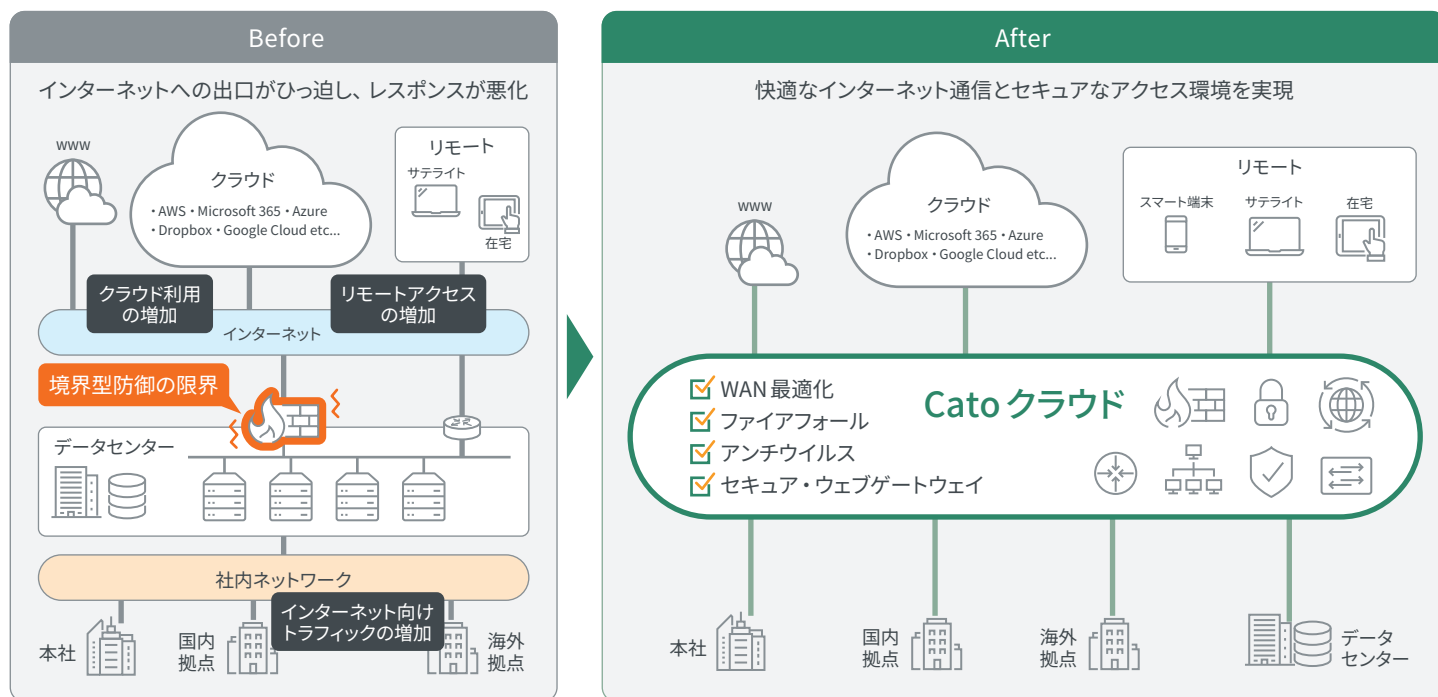


Cato クラウドのネットワーク・
セキュリティを利用することで、
WAN を含めて
一元管理することができ、
管理負荷が大幅に軽減。

※SASE (サッシー) とは

SASE (Secure Access Service Edge)。調査会社ガートナーが2019年8月発行したレポート「The Future of Network Security Is in the Cloud」において提唱した、新たなネットワークセキュリティフレームワーク

インフラやアプリケーションに続き、ネットワークやセキュリティもクラウド化



グローバルバックボーン

順次拡大中！

95以上に及ぶグローバルPoP (Point of Presense)を配備。SLA (99.999%以上) 保証の低遅延・低レイテンシーなネットワーク接続をご提供。



お客様からの声



- 国内の営業所や海外拠点ではシステム担当者が不在のため、ファイアウォールの設置を始め、機器のバージョンアップで現地へ赴く必要があったが、その必要がなくなった。
- 海外拠点から国内システムへのアクセスが格段に速くなった。
- 中国から Google などのサービス利用が可能になった。
- PoP までのアクセスに安価なブロードバンド回線を利用することで、回線コストを大幅に削減できた。
- リモートワークの増加に対し、既存キャリアのサービスや

リモートアクセスの機器増強では非常に時間が掛かっていたが、Catoクラウドは注文後すぐにサービスの利用を開始することができた。

- スモールスタートにより、非常に安価にサービスを開始することができた。
- ネットワークやセキュリティの状況をリアルタイムに可視化でき、管理を一元化できたことにより、運用負荷を軽減することができた。

SCSK

SCSKセキュリティ株式会社

〒135-0061 東京都江東区豊洲3-2-20 豊洲フロント
e-mail: cato-sales@scsksecurity.co.jp

商品の詳細はこちらホームページをご覧ください

<https://scsksecurity.co.jp/services/cato/>

※ 記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。
 ※ 記載製品の仕様は予告なしに変更される場合があります。
 ※ 記載の内容は2026年9月現在のものです。